

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 株式会社アルファゲート

1 事業の趣旨・目的

- (1)子どもは学校で日本語を覚えていくが、親は子どもを通訳代わりにしているために、なかなか日本語が身につかないことから、親子で一緒に学ぶ機会として、また在日期间の短い親子が日本語学ぶために家庭内でも日常的話す環境を作ることが目的とする。
働く親と子どもの利便性と共用できる時間帯を考慮してWeb 会議システムを活用する。
- (2)職場で日本人社員とのコミュニケーションを円滑にできること及び日本企業の職場に必要な会話力と知識を身につける。また職域を広げるために文章の読み書きを指導する。
平日の就労者を対象としての講座のため、参加しやすいようにWeb 会議システムを活用する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
11月15日	アルファゲート事務所	鈴木英明 川崎光雄 岡部努 菅沼泰夫	テキスト内容の検討 受講者募集の検討	海外での日本語講師を長年行っている鈴木氏の指導により、小学校の教科書を元に入門テキストの作成内容と指導方法の指導・確認及び、受講者募集方法について打ち合わせた。
12月1日	同上	同上	テキスト内容の確認 受講者募集	制作した入門テキストの内容確認と指導方法の打ち合わせ。 受講者募集状況の確認と募集強化の打ち合わせ。
1月11日	同上	同上	授業開始しての課題	Web 授業での話し方、受講者への指示の仕方などの打ち合わせと受講者のパソコントラブルの原因と対策について打ち合わせ。
2月2日	同上	同上	授業の課題 進捗状況の確認	当初考えているよりも日本語の学習に時間が掛かり、習慣とか職場コミュニケーションなどプラスアルファ部分の授業に手が付かないことについて進め方を打ち合わせた。

3 月 21 日	同上	同上	進捗状況の確認 今後の進め方	目標と実際の状況について 目標設定の妥当性と反省。また今回参加できなかった希望者の求める内容、 レベルの確認と意見交換。
----------	----	----	-------------------	--



3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

- (1) 日本語基礎・Web 教室・親子友人で学ぶ日本語と母国との習慣の違い
- (2) 職場のコミュニケーションのための会話力を身につける日本語教室

② 開催場所

講 師: 株式会社アルファゲート事務所内

受講者: 自宅

③ 学習目標

- (1) 家庭内の親子での日本語会話ができるようにする。
- (2) 職場でのコミュニケーションに必要な日本語の基本を学ぶ。

④ 使用した教材・リソース

小学校の全学年の国語の教科書

鈴木英明アドバイザーの制作した教材

みんなの日本語(スリーエーネットワーク社)

みんなの日本語初級 I 教え方の手引き

漢字 300(くろしお出版)

⑤ 受講者の募集方法

NPO 法人ブラジルふれあい会による募集

(ラジオフェニックスでのアナウンス、ふれあい会参加者からの口コミ)

浜松経済新聞での記事掲載

⑥ 受講者の総数 6 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 30 時間 (全 30 回)

日本語教室の具体的内容

(1)日本語基礎・Web 教室・親子で学ぶ日本語と母国語の習慣の違い

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	1月24日 19:30～20:30	1時間	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	教授者1人 補助者1人	授業内容の詳細説明 教材説明 ペンタプレットの練習 ひらがな「あかさ行」 読みと書き方 類似文字との違い学習
②	1月27日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ペンタプレットの練習 ひらがな「あ行」 含む言葉を複数学習 読み書き
③	1月29日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「か行」 含む言葉を複数学習 読み書き
④	2月2日 19:30～20:30	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	ひらがな「さ行」 含む言葉を複数学習 読み書き
⑤	2月4日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「たなは行」 読みと書き方 類似文字との違い学習
⑥	2月7日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「た行」 含む言葉を複数学習 読み書き
⑦	2月11日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「な行」 含む言葉を複数学習 読み書き
⑧	2月14日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「は行」 含む言葉を複数学習 読み書き
⑨	2月16日 19:30～20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「まやらわん行」 読みと書き方 類似文字との違い学習
⑩	2月18日	同上	2人	ブラジル・ポルトガル	同上	ひらがな「ま行」 含む言葉を複数

	19:30~20:30			(2人)		学習 読み書き
⑪	2月21日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「やら 行」 含む言葉を複数 学習 読み書き
⑫	2月23日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「らわ ん行」 含む言葉を複数 学習 読み書き
⑬	2月25日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「がざ だばば行」 読みと書き方 類似文字との違 い学習
⑭	2月28日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな「がざ 行」 含む言葉を複数 学習 読み書き
⑮	3月4日 19:30~20:30	同上	3人	ブラジル・ポルトガル (3人)	同上	ひらがな「だば 行」 含む言葉を複数 学習 読み書き
⑯	3月7日 19:30~20:30	同上	3人	ブラジル・ポルトガル (3人)	同上	ひらがな「ばば 行」 含む言葉を複数 学習 読み書き
⑰	3月9日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな拗音、促 音の学習 きゃしゃちゃに ゃひゃみゃりゃ 全体の紹介説明 書き方、読み方
⑱	3月11日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな拗音の 学習 含む言葉を使っ て学習 書き方、読み方
⑲	3月28日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	ひらがな促音の 学習 含む言葉を使っ て学習 書き方、読み方
⑳	3月29日 19:30~20:30	同上	4人	ブラジル・ポルトガル (4人)	同上	のばす音の学習 これからの学習 目標など意見交 換

(2)職場のコミュニケーションのための会話力を身につける日本語教室

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	1月24日 20:45～21:45	1時間	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	教授者1人 補助者1人	授業内容の詳細説明 教材説明 ペンタプレットの練習 ひらがな、カタカナ全体の説明 ひらがな読みと書き方
②	1月27日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	ペンタプレットの練習 ひらがな「あかさ行」 含む言葉を複数学習 読み書き、類似文字
③	2月7日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	ペンタプレットの練習 ひらがな「たなはらや行」 含む言葉を複数学習 読み書き、類似文字
④	2月14日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	ひらがな「らわん行」 カタカナ「アカ」 含む言葉の読み書き
⑤	2月21日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	カタカナ「カサタナ」 含む言葉の読み書き
⑥	2月28日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	カタカナ「ハマヤラワン」 含む言葉の読み書き
⑦	3月7日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	濁音「ガザ」を含む言葉の読み書き
⑧	3月14日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	濁音「ダバ」を含む言葉の読み書き
⑨	3月28日	同上	2人	ブラジル・ポルトガル	同上	半濁音「ぱ行」を

	20:45～21:45			(2人)		含む言葉の読み書き
⑩	3月29日 20:45～21:45	同上	2人	ブラジル・ポルトガル (2人)	同上	半濁音「ば行」を含む言葉の読み書き これからの学習目標など意見交換

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

1月24日

事前に受講者のパソコンに Web 会議をインストールして確認をしたが、受講者に講師の声が聞こえないトラブルがあり、開始が遅れた。とりあえず、ヘッドフォンを使わずにスピーカーから音声を聞いてもらう。

2組の親子とともに受講者はひらがな、カタカナがほとんど読めないが、あいうえおなど 50 音はある程度発音ができた。1組は小学校の子どもと母親。もう1組は成人の息子さんと父親で息子さんは、大体の会話はできる。

教材として 50 音のローマ字読みの表と 50 音の入った単語と絵を表した表をもとに読みと発音を一通り練習して現在のレベルを把握した。日本人講師が説明して発音し、それを補助者が母国語で補助して進めた。

またペンタブレットの使い方を指導した。(紙に書くのと少し異なるため、慣れが必要)

2月28日

カタカナの学習に入っているが、「シ」「ツ」「ソ」、「ス」「ヌ」など識別が難しいようであった。

多少間違っているが、日本人は判断して読めるので間違いを恐れずに、まずは積極的に書くことを指導した。

単語で文字を学習するようにするために絵入りでテキストを作ったことから、イメージはつきやすいようであるが、書き方などでは母国語の補助者がいないと説明がつかないことが多く、授業の進行は思ったよりも時間が掛かっている。

ペンタブレットで文字を書くのに慣れが必要のために MV ペンという商品を購入してテストしたが、こちらは普通に紙に文字をかくことができるため、書きやすいことが分かったので、購入して受講者への貸し出しを検討することとした。



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
川崎光雄	ポルトガル語 (ブラジル)	13 年	30 回	授業補助, 通訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語 教育に関する資格	参加回数	当該教室での 役割
鈴木 英明	元大韓民国嶺南外 国語大講師 元フィリピン NPO HELIOS 日本語講 師		5 回	アドバイザー

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

目標レベルは言葉のみならず、日本の習慣なども交えた授業を行うことを目指していたが、実施回数が少なかったこともあるが、言葉の「発音」とともに「書く」ことにも重点を置いたために日本の習慣を交えた授業まではできなかった。

また「職場でのコミュニケーションに必要な日本語の基本」として、就労先の社員、上司への言葉使い(主に敬語)や言い回しで相手に失礼になる事例などを過去の失敗事例を基に指導した。

彼らが日本語を十分に身に着けたとは言えないが、楽しんで取り組んでくれたことから、今後も日本語の学習に取り組んでくれると感じた。

② 学習者の習得状況

彼らが充分日本語を身につけたとは言えないが、楽しんで取り組んでくれたことから、今後も日本語の学習に取り組んでくれると感じた。

どこから手をつけて良いかわからない状況だったということから、その糸口をつかむ機会になったと確信する。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

自宅で受講できることは非常に喜ばれた。応募者の中には、夜勤者が複数おり、昼間の受講希望があった。職場・自宅・教室を移動するのは、日本語を覚えたいという気持ちはあってもなかなか継続しにくいとの声があった。

その意味で Web での受講は、面白みも加わって歓迎された。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

NPO ブラジルふれあい会との連携により、彼らが関わるコミュニティが異なるとあいまみえ

ないことがあることからグループ分けには注意すること、プライドが高いので言い方には注意が必要であること、おおよそ「ひらがな」「カタカナ」の読み書きはできるが、「あ」と「お」、「ぬ」と「ね」など、類似する文字の識別が不十分であるから、あいまいにせずによりしっかり指導して欲しいなど、彼らの特性や希望を知ったうえで取り組みができた点は、良かった。ただ受け入れる側の体制が充分ではなかったために、十分な成果をあげられなかった点は大きな反省点である。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

ある程度、日本語を話すことができる外国人も多くなってきているようだが、学習意欲を維持するための目標を持つことが必要と感じる。

b. 今後の課題

目標設定として日本語検定など資格取得をあげる者もいたことから、各級を目標にして、更にその上の級を目指すことで学習意欲をあげることも1案と考える。

c. 今後の活動予定、展望

ブラジル人との交流の中で、工場での生産業務以外への職場で就業できるようにすることが、彼らが定住していくことにつながると感じる。

弊社としては、職業訓練を実施しているが、今後外国人の新たな職域拡大に貢献できるような日本語とマナーと技術を身につける事業にこの経験を生かしたいと考える。

③その他参考資料

特になし

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。